

令和6年度 特色ある道德教育推進校

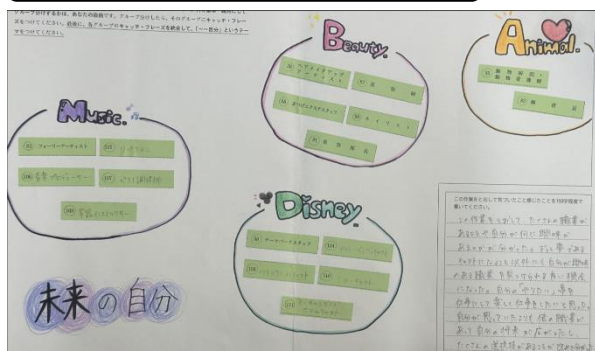
県立柏井高等学校

研究主題

自分の生き方について考え、よりよく生きようとする生徒の育成

取組 1 自分の生き方や在り方について考える時間の設定

工夫 1 KJ法による職業調べ



○KJ法によって、少しでも興味を持っている職業を選択し、自分の将来について真剣に考えた。

工夫 2 自己評価を行う時間の設定

守っていますか 自転車のルール？		
	罰金	あなたは○？×？
歩道通行の禁止	5万円以下の罰金	×
歩行者の通行妨害の禁止	2万円以下の罰金	○
右側通行の禁止	5万円以下の罰金	○
二人乗りの禁止	2万円以下の罰金	○
2台並んでの走行禁止	2万円以下の罰金	○
片手運転の禁止	5万円以下の罰金	×
信号無視	5万円以下の罰金	○
夜間、無灯火運転の禁止	5万円以下の罰金	○

○交通マナーやSNS関係の内容を扱う際には、自分の現状を見つめ直し、自己評価をする時間を設けた。

取組 2 人と関わり合い、話し合う機会を充実させる

工夫 1 班での話し合いを取り入れる



○班での話し合いを積極的に行い、発言しやすい雰囲気づくりを行った。

○自分とは異なる意見を受け入れたり、合意形成を図ったりして、コミュニケーション能力を高めることができた。

工夫 2 部活動等での地域貢献



○吹奏楽部が地域の高齢者福祉施設を訪問し、演奏を行った。



○陸上競技部が近隣の小学校を訪問し、実技指導を行った。

取組3 学校教育全体を通した道徳教育の充実

道徳教育全体計画

関係法令	学校の教育目標	生徒の実態
・日本国憲法 ・教育基本法 ・学校教育法 ・学習指導要領	「英明開達」の校訓のもと、真摯な学びの文化と活力に満ちた風土を培い、「地域になくてはならない名門校」づくりを目指す。生徒ひとりひとりの個性を大切に、他者を尊重する精神を養い、社会に貢献する人材の育成に努める。	・素直で明るい生徒が多く、基本的な生活習慣が定着している。 ・部活動に対して熱心に取り組んでいる。
保護者の願い	道徳教育の重点目標	地域の実態・願い
・教職員が教育に熱心に取り組んでいること。 ・教職員が生徒の相談に丁寧に応じていること。 ・分かりやすい授業をしていること。	・礼儀と秩序を重んじ、思いやりの心と豊かな体を備え、誠実で奉仕精神あふれる健全な心を育てる。 ・それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があつたことを理解して、寛容の心をつかう。 ・「道徳」を学ぶ時間の充実(教育課程上の位置付け・学習内容等) ・ロングホームルームを活用した道徳の授業。 ・道徳教育的な内容の学校行事の実施。 ・道徳教育的な内容の総合的な探究の時間の実施。	・雑木林、農耕地が残る緑豊かな周辺環境。 ・駅周辺には商業地域が展開している。 ・周辺に小中学校、老人福祉施設、病院がある。
各教科・科目	各学年の重点目標	総合的な探究の時間
国語 ・表現力と理解力を育成し、互いの立場や考えを尊重しつつ、言葉で伝え合う力と言語感覚を磨き、自己の向上を図る。 英語 ・わが国と世界の文化と伝統に対する関心や理解を深め、それらを尊重し、理解・発展する態度を育成する。 公民 ・公正な判断を養う学習と、人間としてのあり方生き方について考える学習を充実し、生きる主体としての自己を確立する。 数学 ・基本的な知識や計算力を習得し、問題をいろいろな角度から考え、数学的に筋道を立てて表現する能力を高める。 理科 ・自然の事物、現象を探究することと、科学的なものの見方や考え方を尊重する態度を養う。 体育 ・健康についての理解と運動の合理的な実践を通して健康の増進と体力の向上を図る。 芸術 ・芸術の表現を通して、芸術に親しむ心を培い豊かな情操を養う。 外国語 ・異文化を積極的に理解しようとする姿勢を育み、それを受け入れる心の広さを持てる人間形成を目指す。 家庭 ・身近な生活習慣や勤労の尊さ、健康のありかたなどを理解させ、主体的に自分の生き方を考え、生活をよりよくする能力を養う。 情報 ・情報スキルに特化することなく、情報社会で適正な活動を行う考え方や態度を身に付け、育成する。	1学年 ・基本的な生活習慣の確立を通して、規範意識の高揚を図る。 ・学校行事やホームルーム活動を活発にし、集団の一員であるという自覚を高める。 2学年 ・諸行事を通して、主体的に取り組むことや協調することの大切さと重要性を再認識させる。 ・修学旅行やその学習を通して、生命尊重の心、実践力、他者への思いやりの心をつかう。 3学年 ・進路活動等を通して、幅広い社会性や公共心を身に付ける。 ・さまざまな資料を活用し、社会人としての在り方や考え方を習得する。	【1学年】・様々なコンテンツを通じ、社会に対する視野を広げる。・自らの問題を発見した自己理解と、情報活用能力を培い、社会分析に則った進路目標設定に努める。・専門的な体験を通じ、進路に対する動機付けを行う。 【2学年】・修学旅行先の歴史、産業、文化等について学び、実地学習により検証する。・平和学習を通じ、生命尊重の心を養う。 【3学年】・進路実現に必要な学習実践力をつける。・自己学習の習慣をつけ、目標と進路実現に向けた意欲の定着。
生徒指導	キャリア教育	特別活動
・思いやりの心をもって他者に接し、社会との関わりの中で、自分の在り方を考えられるようにする。 ・生命尊重、社会安全の観点から、交通安全、交通マナーの向上に努める。	・自己の在り方と生き方を考え、一人ひとりが自立に向けて必要な基礎となる能力を養う。・社会関係を築く自分を理解して行動するとともに、思考や感情を律する能力を養う。	【HR活動】・HR活動を通して、協働性のある人間関係を築き、互いの個性、個性の違いなどを尊重する態度を養う。・生徒心構等の規律を理解し、規範意識の向上に努める。・交通安全、公共道徳を理解し、社会の一員としての自覚を促す。 【生徒会活動】・自主的、自律的な資質を養う。・各行事の運営を通じて、公共の利益を目的とした、より高い実践力を育む。 【学校行事】・文化祭、体育祭等の行事を通じ、実践力のある生徒を育てる。
家庭・地域との連携	中学校との連携	課外活動(部活動等)
・開かれた学校づくりを目指し、地域安全員による登下校指導、保護者会生活委員会による通学路清掃など、環境化等の育成を図る。・小中学校での出前授業、老人介護施設、保育施設などの訪問など。	・授業公開や出前授業、部活動体験などを通じて高校生と中学生の交流を図り、集団生活や協働性の大切さを紹介する。	・活力ある部活動を推進し、同じ目標に向かう仲間と力を尽くすことの喜びや達成感、協調性、他者理解の心を養う。 ・心身の鍛錬により、健全な身体と、礼法、何事にも正々向かう精神を養う。 ・積極的に学校生活に取り組め、学校生活に寄与する態度を培う。

「道徳」を学ぶ時間 年間指導計画

特別活動										総合的な探究の時間			
L H R		学校行事・生徒会活動		総合的な探究の時間		総合的な探究の時間		総合的な探究の時間		総合的な探究の時間		総合的な探究の時間	
月	日	内 容	時数	日	内 容	時数	日	内 容	時数	日	内 容	時数	日
4月	11	オリエンテーション①②	2	9	入学式	1							
	12	オリエンテーション③④	2	11	新入生歓迎会	2							
				18	防災訓練・講話	2							
5月	9	進路研究(個人)	1				9	学力向上講演会	1				
	16	科目選択説明会	1										
				30	生徒総会	2							
6月							6	道徳①(映像教材)	1				
							27	国際理解					
7月	17	道徳②③豊かな心LHR	2										
8月													
9月				5	文化祭準備	2							
				19	体育祭準備	2							
10月	3	進路研究(KJ法)	1				3	進路研究(KJ法)	1				
	17	学力向上講演会	1		10 生徒会役員選挙①	2							
				31	生徒会役員選挙②	1							
11月	7	進路分野別説明会	2				14	道徳④(映像教材)・公開	1				
12月	18	道徳⑤豊かな心LHR	1										
				19	全校集会	1							
1月	9	校歌歌唱研究	1				16	道徳⑥(映像教材)	1				
2月	23	修学旅行(沖縄)探求	1				23	修学旅行(沖縄)講演会	1				
	6	進路分野別説明会	1				6	進路分野別説明会	1				
							13	校歌歌唱探求	1				
3月	18	道徳⑦⑧豊かな心LHR	2	5	卒業式	1							
				19	学年集会	1							

○教育目標にある「生徒ひとりひとりの個性を大切に、他者を尊重する精神を養い、社会に貢献する人材の育成」を達成するため、国際理解や修学旅行に関連させ、様々な文化や考えに触れる講演を行った。

○総合的な探究の時間や特別活動の時間を有効に活用して道徳教育を行った。

主な成果と課題

○生徒自身が自分の将来や現状について考える機会を設けたことにより、自己実現を図るため、日々の学校生活を大切にしている様子がうかがえた。

○SNS や対人関係でのトラブルの事例を扱ったことにより、自分事として捉え、相手の立場になって考える力を身に付けることができた。

●教員間でもっとコミュニケーションを取り、各教科指導内での道徳教育をも積極的に行うなど、道徳教育がより学校全体で行われるようにしたいと感じた。

授業実践事例

1 学習指導案

高等学校 1 年 3 組「道徳」を学ぶ時間指導案

令和 6 年 1 1 月 1 4 日（木）

（１）主題名

「善悪の判断、自主、自律、自由と責任」

（２）ねらいと教材

SNSに関するトラブルの事例を通して、情報を見極める力、相談する力を身に付けさせる。特に闇バイトに関しては、近年高校生をはじめとする若い世代を狙った事例が多いため、動画教材の視聴を通して、犯罪に関わってしまった場合の心情や家族や被害者の気持ちを想像し、自分の生き方について考える。

3 主題設定の理由

（１）ねらいや指導内容についての教師の捉え方

近年、SNSに関するトラブルは高校生にとって非常に身近なものであり、闇バイトなど、犯罪に加担しているという自覚がなく、トラブルに巻き込まれてしまうということもある。その一方でSNS上でのやり取りは教師が把握することが難しいため、自ら情報を見極め、トラブルに巻き込まれた場合には早急に相談することができる力を身に付けることが重要である。

（２）生徒のこれまでの学習状況や実態と教師の願い

道徳の授業では、自転車マナーを中心にルールを守ることについて学習している。決められたルールを守ることに加え、善悪の判断を行い、自分の身は自分で守るすべを身に付けてほしい。

（３）使用する教材の特質やそれを生かす具体的な活用方法

本時で使用する動画教材「闇バイトその先にある絶望」（警視庁出典）は闇バイトに関わり、犯罪に加担してしまった場合、どのような未来が待っているのかを学ぶことができ、生徒が主人公に対して共感、同情しやすく、闇バイトは犯罪行為であり、絶対に関わってはいけないと認識できると考える。また、実際の闇バイトの求人に関するクイズを行うことで、情報を見極める力を身に付けることができると考える。

4 展開

過程	学習活動と主な発問	予想される反応	指導上の留意点
導入 (10)	・警察の講演を聞いて学んだことや今後生かしたいことを記入する。	・SNSトラブルに巻き込まれないために気を付けようと思った。	・机間巡視を行い、数人を指名し、発表する。講演で学んだことを再確認する。
展開 (35)	・闇バイトに対するイメージや知っていることを挙げて、班で共有する。	・短時間で高額を稼ぐことができる。	・闇バイトが関与する強盗事件について説明する。

